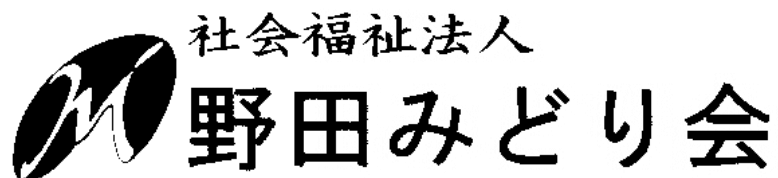


令和5年度

# 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)



# 報告書内容

## 総括

## 事業所別報告

- I 法人事務局
- II 鶴寿園事業部
- III 指定管理等事業部

## 事業所別利用明細表等

## 【総括】

事業運営につきましては、法人理念である「すべての人を幸せに」との基本方針に基づき取組を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も引き続き徹底した感染症対策を講じたことにより、クラスターを発生させることなく事業運営を継続することができました。

高齢者事業につきましては、引き続きICT(情報通信技術)の活用による生産性向上を図り、介護技法のひとつである持ちあげない、抱えあげない介護「ノーリフティングケア」の実践・定着に取り組み、労働環境の改善やサービス向上に努めてまいりました。

障がい者事業につきましては、ハーモニーホームが事業を開始するなど、ご利用者様のご要望等にお応えできるよう取り組んでまいりました。

収入面では、事業収益は特別養護老人ホーム鶴寿園従来型やデイサービスセンター鶴寿園等における利用者数の増により介護保険事業収益が前年度を上回る結果となりました。また、ハーモニーホーム事業開始による障害福祉サービス等事業収益の増加もあり法人全体のサービス活動収益は前年度を上回る結果となりました。一方で、新型コロナウイルス関連等の補助金は減少しました。

人件費につきましては、新規事業開始に伴う職員の増及び労働保険料や社会保険料の増により増額となりました。

事業費につきましては、食材料費が高騰したものの電気、ガスの光熱費の減等により減額となりました。

事務費につきましては、業務委託費が増額したものの前年度とほぼ同水準となりました。

この結果、今期の決算につきましては、事業活動計算書のサービス活動収益は前年比 2.3%増の 1,552,974 千円、サービス活動費用は前年 2.9%増の 1,480,045 千円、サービス活動増減差額は前年比 9.2%減の 72,929 千円となりました。

### 当期の業績

サービス活動収益	1,552,974 千円	前年比	2.3%増
サービス活動費用	1,480,045 千円	前年比	2.9%増
サービス活動増減差額	72,929 千円	前年比	9.2%減
経常増減差額	71,582 千円	前年比	11.9%減
当期活動増減差額	75,121 千円	前年比	7.4%減

※各事業拠点の状況は、後述します。

## 【事業所別報告】

### I 法人事務局

#### 1 取組内容

- ①法人統括機能拡充のため、各事業所所管業務であった管財業務等の一部を移管し組織ガバナンス等のマネジメント体制を強化することができました。
- ②採用、教育、労務等の人事管理の一元化実現のため法人内部研修開催を担当し、計画どおり進めることができました。
- ③障がい者グループホームに係る建設費借入等業務や開設申請等を計画どおり

進めることができました。

⑤職員のキャリアアップ及び資格取得支援のため介護福祉士実務者研修を法人内で1回開催し、7人が介護福祉士実務者研修資格を取得。6人が介護福祉士国家試験に合格しました。

⑥新卒者採用活動では随時会社説明会や採用面接試験を実施し、会社説明会には13人、採用面接試験には7人が参加され、新卒者4人を採用しました。

## 2 理事会・評議員会

### (1) 理事会 8回開催

場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室  
ハーモニーホーム、ビジネスホテル野田

開催日時	議案
令和5年6月7日(水) 午後4時から 出席者数 理事7人 監事2人	令和4年度事業報告書について 令和4年度決算書について 定時評議員会の招集について 理事候補者の選定について 監事候補者の選定について 令和5年度上期賞与支給総額の決定について 社会福祉充実残額について
令和5年6月28日(水) 午後4時から 出席者数 理事6人 監事2人	理事長の互選について 理事長の報酬金額の決定について 評議員選任・解任委員の選任について 特別養護老人ホーム野田市楽寿園の運営推進委員の選任について 職員給与規程等の一部改正について 介護保険法に基づく指定事業者の指定更新について 障がい者グループホーム備品の購入について
令和5年8月22日(火) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事1人	評議員選任候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集について 評議員会の招集について 定款の変更について 指定障害福祉サービス事業(共同生活援助・短期入所・一時支援)の指定申請について ハーモニーホーム運営規程(共同生活援助・短期入所・一時支援)の制定について 野田みどり会共同生活援助事業所の事業廃止について 組織及び職務権限に関する規程等の一部改正について 令和5年度事業計画書の一部変更について 令和5年度資金収支予算の補正について(一次) 理事長の職務の執行状況について
令和5年9月20日(水)	職員就業規則の一部改正について

午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	非常勤職員就業規則の一部改正について ヘルパー就業規則の一部改正について
令和5年11月8日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	令和5年度上期事業報告について 給食調理業務委託に係る公募型プロポーザルの実施について 鶴奉84番16の土地フェンス設置工事請負契約の締結について 令和5年度下期賞与総額の決定について 令和5年度資金収支予算の補正について(二次) 評議員会の招集について
令和5年12月13日(水) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事1人	職員就業規則の一部改正について 職員給与規程の一部改正について 介護保険法に基づく指定事業者の指定更新について 給食調理業務委託業者の選定について
令和6年2月15日(木) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	組織及び職務権限に関する規程等の一部改正について 運営規程の一部改正について 職員給与規程の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について ヘルパー就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 自動車通勤管理規程の一部改正について 職員給与の昇給資金量について 評議員会の招集について 施設長等の解任及び選任について
令和6年3月13日(水) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事2人	職員給与規程の一部改正について 運営規程の一部改正について 令和6年度事業計画書について 令和6年度資金収支予算書について 指定管理者基本協定書の締結について 令和6年度指定管理者年度協定書の締結について 令和6年度業務委託等の契約締結について 鶴奉84番16の土地フェンス設置工事請負契約の締結について 苦情解決第三者委員の選任について 理事長職務の執行について

(2) 評議員会 4回開催

場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）地域交流室、ハーモニーホーム

開催日時	議案
令和5年6月28日(火) 午後2時から 出席者数 評議員6人	令和4年度事業報告書について 令和4年度決算書について 理事の選任について

	監事の選任について 社会福祉充実残額について
令和5年9月6日(水) 午後2時から 出席者数 評議員8人	定款の変更について 令和5年度事業計画書の一部変更について 令和5年度資金収支予算の補正について(一次)
令和5年11月21日(火) 午後2時から 出席者数 評議員8人	令和5年度資金収支予算の補正について(二次)
令和6年3月22日(金) 午後2時から 出席者数 評議員6人	令和6年度事業計画書について 令和6年度資金収支予算書について

(3) 評議員選任・解任委員会 1回開催

場所：特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

開催日時	議案
令和5年8月31日(木) 午前10時から 出席者数 委員3人	評議員の選任について

3 監査等

内容	実施日時	対象事業所	結果(通知)
監事監査	令和5年5月26日(金) 午前10時から	全事業所	<p>事業報告等監査結果</p> <p>事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</p> <p>理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</p> <p>計算関係書類及び財産目録</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。</p> <p>補足意見</p> <p>内部監査は適正に実施されているが、監査報告書に対する回答書が添付されていない、または回答書に対し各担当部署や役員の決裁が確認できないものが見られたので是正願いたい。</p> <p>監査結果をより活用するために、指摘事項及び改善策を法人内で情報共有する方法を検討願いたい。</p>

			伝票及び証憑類の処理は適切に行われている。拠点の増に伴い証憑類の保存管理も相当な負担となるので、電磁的な保存方法を検討されることを奨めたい。
指導監査 運営指導	令和6年2月16日(金) 午前10時から	特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型) 特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	看取り介護加算について、他職種が参加するケアカンファレンス等を通じて、実施した看取りの介護の検証や、職員の精神負担の把握及びそれに対する支援を行うこと。そして、看取りに関する指針の内容等について、適宜、適切な見直しを行うこと。また、令和3年度の報酬改定に合わせ看取りに関する指針に生活相談員を加えること。
		ショートステイ鶴寿園(従来型) ショートステイ鶴寿園(ユニット型) デイサービスセンター鶴寿園	介護保険法第24条の規定により運営指導を実施したところおおむね適切に運営されているものと認められました。

#### 4 人事関係調書

採用者は、正規職員23人、非常勤職員24人、退職者は、正規職員17人、嘱託職員、特別職員及び非常勤職員24人と採用者が上回ることとなりましたが、引き続き人材確保に苦慮している状況にあります。

新卒者の確保につきましては、昨年度は5人で、本年度は短期大学及び専門学校卒業者4人(内2人は介護福祉士有資格者)を確保することができました。

##### (1) 在籍者

	職員数※4月1日		職員数※3月31日		平均勤続年数		平均年齢	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
正職員	148人	153人	153人	153人	10年8か月	10年7か月	42.1歳	40.7歳
非常勤職員	86人	89人	97人	92人	8年1か月	8年3か月	59.1歳	58.7歳
嘱託職員	7人	7人	7人	7人	13年7か月	12年7か月	62.9歳	61.9歳
特別職員	1人	1人	0人	1人	-	3年10か月	-	64.0歳
総計	242人	250人	255人	253人	10年7か月	9年9か月	50.1歳	48.0歳

##### (2) 採用者・退職者

	採用者		退職者		平均勤続年数(退職者)		離職率	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
正職員	23人	12人	17人	12人	3年8か月	2年2か月	11.3%	7.8%
非常勤職員	24人	13人	22人	10人	4年9か月	5年1か月	24.0%	11.0%
嘱託職員	0人	0人	1人	0人	9年1か月	-	100.0%	-
特別職員	0人	0人	1人	0人	4年7か月	-	100.0%	-
総計	47人	25人	41人	22人	※4年3か月	3年10か月	※17.7%	9.4%

※嘱託職員及び特別職員を除く

## II 鶴寿園事業部

### 1 特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）

#### (1) 取組内容

- ①看取りケアにつきましては、年 22 人が対象となり最期までご家族と一緒に過ごすことができる空間作りを行いました。職員研修及び育成に関しては、日常業務を通じた研修のみとなり学習会等の開催については実施することができませんでした。
- ②ショートステイご利用様へのニーズにお応えするよう利用前実態調査情報共有の迅速化やカンファレンスの随時開催を行ってまいりましたが、稼働率は目標値に達することができませんでした。  
入居検討委員会を特養楽寿園と合同で年 16 回開催し、待機者名簿登載者は平均 10.9 人となりました。平均利用者数 53.3 人、ショートステイ 13.2 人で昨年度を上回ることであり、空床期間は平均 7 日でした。
- ③ノーリフティングケアにつきましては、導入済の機器操作等を習得し、多職種協働で安全にサービス提供ができるよう取り組みました。
- ④ご利用者様に感染症の疑いがみられた際は嘱託医との連携を図り、迅速な対応と拡大防止に努めました。職員が感染したこともありましたが、常時感染予防に努めていたことにより、施設内で感染拡大することなく、安心して生活していただくことができました。
- ⑤老朽化している施設設備（給湯やナースコール等）や使用していない箇所（旧厨房）を一体的に改修する大規模改修計画策定には至らず、翌年度に繰り越しとなりました。

#### (2) 利用実績

	特養(1日)	ショートステイ(1日)
定員	54人	16人
令和5年度目標平均入居者数(1日)	53.0人	14.0人
令和5年度実績平均入居者数(1日)	53.3人	13.2人
達成率	100.6%	94.1%
令和4年度実績平均入居者数(1日)	53.0人	12.6人

サービス活動収益につきましては、特養前年比 2.6%増の 240,869 千円、ショートステイ前年比 5.7%増の 55,291 千円となりました。主な要因は、ベースアップ加算、稼働率増、平均介護度の上昇(0.1)による介護報酬収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年比 1.6%減の 214,240 千円、ショートステイ前年比 1.6%減の 57,675 千円となりました。主な要因は、水道光熱費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、特養 10,893 千円、ショートステイ△2,383 千円となりました。



## 2 特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）

### (1) 取組内容

- ①ミールラウンドを年 17 回実施しました。誤嚥性肺炎による入院者は 1 人発生したものの食事姿勢や食具の見直し、食事形態の検討により誤嚥リスクの低減につなげることができました。また、食事摂取時の観察する視点や食事介助に係る研修を 3 月に実施しました。排泄用品を年 2 回見直しましたが、要介護度 4 及び 5 のご利用者様の増や個々の状態に合わせた用品の使用変更により費用の増となりました。
- ②入居待機者確保については緊急度が高い方の入居申請受付後、迅速に調査を実施し、入居検討委員会を年 25 回開催することで遅延なく入居へとつなげることができ、空床期間は平均 9.4 日でした。ショートステイは、営業活動から長期利用の需要を確認した上で予約状況を都度見直し、ご要望にお応えしてまいりましたが、目標稼働率を達成することができませんでした。
- ③ノーリフティングケア委員会を設置し、毎月の進捗状況を確認しながらスライドボードやリフト移乗の可能性について検討する機会を設けました。移乗動作に使える福祉機器研修、リフトリーダー研修に委員が 2 人参加しました。情報収集をもとにフィードバックを実施し、改めて持ち上げる、抱え上げる以外の選択肢について考える機会となり学びを深めることができました。ショートステイご利用者様を含む 15 人を対象に、リフト又はスライドボード等を用いた移乗を実施することができました。また、ベッド上での引きずる介護ゼロを目指して、スライディングシートを用いた上方移動、体位変換についてリーダー職員対象の研修を実施しました。スライディングシートが必要な方に対し 1 枚ずつ配置したことで使用の定着を図ることができ、ご利用者様から快適といった声をいただくとともに、ご利用者様と職員双方の負担軽減につなげることができました。

### (2) 利用実績

	特養(1日)	ショートステイ(1日)
定員	90 人	10 人
令和 5 年度目標平均入居者数(1日)	88.2 人	8.9 人
令和 5 年度実績平均入居者数(1日)	88.7 人	8.1 人
達成率	100.5%	91.1%
令和 4 年度実績平均入居者数(1日)	88.4 人	8.2 人

サービス活動収益につきましては、特養前年比 0.3%減の 479,030 千円、ショートステイ前年比 3.6%減の 44,703 千円となりました。主な要因は、ショートステイ利用人数の減と補助金収入の減によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年比 0.8%増の 424,872 千円、ショートステイ前年比 1.5%増の 41,317 千円となりました。主な要因は、人件費と修繕費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、特養 16,524 千円、ショートステイ 3,386 千円となりました。

### 3 デイサービスセンター鶴寿園

#### (1) 取組内容

- ①居宅介護支援事業所からの問合せに対して迅速に回答できるよう回答方法マニュアルや空き状況一覧を共有し、初回連絡時に利用前の訪問日時調整まで対応できる体制を図りました。
- ②ご利用者様の活動状況がわかる広報誌をご家族様等へ毎月配布するとともに、居宅介護支援事業所への営業活動時に配布する広報資料にもご利用者様の活動状況を掲載することでサービスの魅力をよりわかりやすく伝えられるよう取り組みました。
- ③ボディメカニクス※、虐待防止、認知症ケア、レクリエーションといったテーマ別研修やデイサービスに特化した生活相談業務に係るオンラインセミナーなどの研修を受講し、サービスの資質向上に取り組みました。また、毎月のケアカンファレンスを通じてご利用者様のケア方法の確認や機能訓練プログラムの見直しを行いました。

※最小限の力で介護を行うことできる介護技法で、人間の関節や筋肉、骨の動きなど力学的関係を活用したもの。

#### (2) 利用実績

	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和5年度目標	30人	366日	21.0人
令和5年度実績	30人	366日	21.5人
達成率			102.3%
令和4年度実績	30人	365日	19.1人

サービス活動収益につきましては、前年比 15.0%増の 76,690 千円となりました。主な要因は、新規ご利用者様 31 名の利用開始や登録中ご利用者様 28 名の利用曜日の増回によるものですが、介護施設への入所や医療機関への長期入院による利用終了も 36 人おりました。

一方、サービス活動費用は、前年比 5.7%増の 63,431 千円となりました。主な要因は、人件費及び事務費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、7,905 千円となりました。引き続き新規ご利用者様の登録数増に向け、余暇活動や機能訓練プログラムを拡充し、充実したサービス提供に取り組んでまいります。

### 4 鶴寿園訪問介護事業所

#### (1) 取組内容

- ①サービス提供責任者 1 人増員し担当者の振分けを実施しました。ご利用者様の体調やケア内容、ご家族様からの連絡事項など様々な情報提供を職員間と共有することでサービス向上につなげることができました。
- ②特定事業所加算算定(Ⅱ)への取組に係る研修機会の確保については、年間計画を全体用と個別用に分けて作成し、事業所会議開催日等にあわせて実施することができました。

- ③業務分担表を作成し、業務や役割を複数の職員で共有することで業務効率を高められるよう取り組みました。

(2) 利用実績

	利用人数	営業日数	平均稼働時間(月)
令和5年度目標	120人	366日	795時間
令和5年度実績	114人	366日	793.3時間
達成率	99.8%		
令和4年度実績	102人	365日	751.5時間

サービス活動収益につきましては、前年比 8.4%増の 48,059 千円となりました。平均稼働時間増の主な要因は、職員 1 人の増に伴いサービス提供時間が拡充されたことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 12.3%増の 42,927 千円となりました。主な要因は人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、3,925 千円となりました。

## 5 鶴寿園居宅介護支援事業所

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後、サービス担当者会議の開催やご利用者様やサービス事業所と対面でのやり取りが増えたことでより意向や状況把握ができ、多くの情報を収集することができました。また、収集した情報は事業所会議等でも活用され、幅広い提案ができるようになりました。
- ②ご利用者様やご家族様の意向やニーズに合わせたサービス提案が行えるように事業所特性やコンセプトを知るための事業所見学や担当者との情報交換を行うことで個々のニーズに応じた提案を行うことができました。
- ③内部研修会を毎月 1 回定期的に開催し、職員の資質向上や知識の再確認を行うように実施しました。資格更新研修や制度改正研修にも参加して必要な研修を受講することができました。ノートパソコンを活用し外出先での事務作業を可能とする環境が整備されたことで生産性が向上し、時間外勤務時間は昨年度比で 22.5%減少させることができました。
- ④市内地域包括支援センターや医療機関との情報交換を定期的に行い、顔の見える関係づくりを行いました。137 件の新規相談に対して 89 件契約となり、契約終了者は 83 件となりました。

(2) 利用実績

	営業日数	平均利用者数(1月)
令和5年度目標	256日	240人
令和5年度実績	256日	239.9人
達成率	99.9%	
令和4年度実績	258日	221人

サービス活動収益につきましては、前年比 2.6%増の 37,813 千円となりま

した。主な要因は、職員 1 人の増に伴い利用者受入件数が拡充されたことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 0.05%減の 32,892 千円となりました。主な要因は、事務費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、3,913 千円となりました。

## 6 野田市東地域包括支援センター

### (1) 取組内容

- ①第 3 地区民生・児童委員の定例会に毎月参加し、顔の見える関係づくりに取り組んだことで、民生委員から地域住民につながり、野田市東地域包括センターとしての窓口の認知度が上昇しました。地域住民に対しては、来所・電話・訪問などによる相談に応じ、3 職種で情報を共有し、早期対応に努めました。遠方の親族からの相談も増加傾向にあり、手続等の支援や、関係機関との連携による見守り等を実施しました。介護保険サービス利用の相談については、詳細に情報収集し、介護支援専門員や関係機関への情報提供又は引継ぎを行い、スムーズにサービス利用ができるよう対応しました。令和 6 年度も引き続き東地区の相談窓口として定着できるように、自治会や地域の活動に参加し広報活動を行ってまいります。
- ②介護支援専門員からの個別相談に対応し、助言や具体的支援を行うとともに、地域ケア個別会議を開催し、地域の関係機関や多職種と連携しながら介護支援専門員への包括的・継続的な支援に努めました。また、地域ケア地区別会議では多職種と地域住民・民生委員等が参加し、地域課題の情報収集と顔の見える関係づくりを行いました。会議を通じて地域課題の抽出や必要とされるサービスや資源についての整理を行いました。令和 6 年度も各職種連携を取りながら地域とのつながりを継続してまいります。
- ③野田市地域包括支援センター連絡会に毎月参加し、他地域包括支援センターの活動報告や個別ケースの情報交換を実施しました。各職種や業務分担に応じた専門的な研修に参加し知識や対応方法について学び、業務に生かすことができました。
- ④感染症対策を継続しながら高齢者の地域における孤立の防止を図ることを目的とした「えんがわ」を月 1 回実施しました。介護予防プログラムやレクリエーション、懇談等を通じた交流の場として地域での居場所づくりに取り組み、年間延べ 78 人が参加しました。

### (2) 利用実績

	職員数	相談人数(月)	予防給付等利用者数(月)
令和 5 年度目標	3 人	200 人	160 人
令和 5 年度実績	3 人	165 人	143 人
令和 4 年度実績	3 人	141 人	156 人

サービス活動収益につきましては、20,100 千円となりました。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.2%減の 17,544 千円とな

りました。主な要因は、事務費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、556 千円となりました。

### Ⅲ 指定管理等事業部

#### 1 複合老人ホーム野田市楽寿園(特別養護老人ホーム・養護老人ホーム)

##### (1) 取組内容

①特養ご利用者様のサービス担当者会議を年 18 回開催し、施設での暮らしの意向調査や多職種の意見をケアプランに反映させるなど個々の生活に合わせたケアを提供することができました。

毎月季節に沿ったイベント行事や天候の良い日には園庭を散歩したりお花見したりと感染症対策を講じながらの外出行事も実施し、充実した楽しみのある生活支援を行いました。

②入居検討委員会を鶴寿園(従来型)と合同で年 16 回開催することで入居待機者を常時 10 人以上確保し、空床発生時には速やかに入居できるよう努めるとともに、入居待機者には定期的な連絡を行うことによりご入居への不安を取り除けるよう努めましたが、空床期間は平均 19.1 日となりました。

③感染対策の手技手法を学ぶ学習会を年 2 回(5 月・10 月)開催し感染症の拡大防止に努めることができました。8 月にご利用者様 1 人が新型コロナウイルス感染症に罹患しましたが、適切な感染症対策を講じたことで集団感染を防止することができました。

入院者の状況確認を病院とこまめに連絡を取りながら退院等の調整を図り、昨年度と比較して入院日数 71 日減少し、1 日当たりの平均利用者が昨年度比で 0.3 人増加することができました。

④地域との共生では、今年度も自治会活動や小学校との交流についてはコロナ禍の影響もあり活動ができませんでしたが、エコキャップ回収活動については引き続き鶴奉地区の自治会や学校、公民館のエコキャップ回収活動を実施することで地域との関わりを深め、年間合計 117kg(約 50,310 個)分を回収しました。

##### (2) 利用実績

	特 養	養 護
定員	29 人	41 人
令和 5 年度目標平均入居者数(1 日)	28.0 人	30.0 人
令和 5 年度実績平均入居者数(1 日)	28.1 人	25.9 人
達成率	100.4%	86.3%
令和 4 年度実績平均入居者数(1 日)	27.8 人	27.7 人

※ 養護の目標平均入居者数は予算定員

サービス活動収益につきましては、特養前年比 0.2%減の 124,713 千円、養護前年比 6.5%減の 100,908 千円となりました。主な要因は、特別養護老人ホームの稼働率増、平均介護度の上昇(0.2)による事業収益は増であったものの補助金事業収入が減となったことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、特養前年比 3.8%減の 119,667 千円、養護前年比 5.2%減の 86,042 千円となりました。主な要因は、水道光熱費と感染症対策費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、特養 4,319 千円、養護 9,650 千円となりました。

## 2 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

### (1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後中止となっていた外出行事や小学校の交流やボランティアの受入などを再開することができました。個別外出行事では花見や初詣など季節の外出とあわせて、ご利用者の希望が多かった外出先 3 か所へ外出し、一人では外出ができないというニーズにお応えすることができました。
- ②利用登録者数、送迎ルート管理、空き状況、利用状況等を職員間で共有するとともに、ご家族様や担当介護支援専門員への連絡がスムーズにできる体制を構築することで、職員及び関係機関等との連携強化を図ることができました。また申し送りや打合せの時間を充実させることで情報共有の質が向上し、より良いサービス提供につながりました。
- ③居宅介護支援事業所への営業活動を月 1 回実施しました。特色である小学校の交流会が再開したことを広く周知したことにより、小学校の交流会希望の見学を希望した 2 人のうち 1 人が新規利用につながりました。また、地域に向けた講習会を 2 回実施し計 23 人の参加がありました。地域に事業所の活動をアピールしたことで、1 人が新規利用につながりました。その結果、新規利用者は年 12 人となりましたが、長期入院や施設入所等による利用取消者が年 18 人となったことから、目標稼働率を達成することができませんでした。

### (2) 利用実績

	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和 5 年度目標	25 人	310 日	19.5 人
令和 5 年度実績	25 人	303 日	16.6 人
達成率			85.4%
令和 4 年度実績	25 人	300 日	17.8 人

サービス活動収益につきましては、前年比 3.2%減の 40,913 千円となりました。主な要因は、長期入院や施設入所等による利用取消者の増によるものです。

サービス活動費用につきましては、前年比 7.0%増の 45,615 千円となりました。主な要因は、非常勤職員の欠員分に対し職員 1 人加配の 3 人体制としたことによるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△5,089 千円となりました。令和元年度以降毎年度利用者数が減少しており、3 年連続でサービス活

動費用がサービス活動収益を上回りました。この状況を踏まえ、令和6年度以後の指定管理料について野田市と協議を行うことといたしました。

### 3 野田市心身障がい者福祉作業所

#### (1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、従前の行事や活動を再開しました。時節の行事や活動を行うことでご利用者様も生活にメリハリが付き、行事開催日については普段休みがちなご利用者様も登所できるようになる等、少しずつ生活様式の変化を感じることができました。
- ②下請け作業について、新規取引業者2社と契約することができました。単独業者依存による作業の変動リスク低減をすることができ、安定してご利用者様への作業提供ができるようになりました。
- ③自主生産品の販売については、野田市産業祭や保護者会の協力を得て地域バザーに出展をしたことで効率よく売り上げることができました。また、口コミ評判から、大口一括購入してくださる業者様とつながることもできました。手芸商品について、評判の良い商品についてバックオーダーをいただけるようになりましたが、生産体制が整わず対応することができなかつたため、今後は生産体制の強化をしてまいります。

#### (2) 利用実績

		生活介護		就労支援B型	
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
定員		25人	25人	15人	15人
営業日数		243日	244日	243日	244日
目標平均利用者数(1日)		27.2人	27.2人	12.2人	12.2人
実績平均利用者数(1日)		24.3人	25.7人	10.3人	11.4人
達成率		89.3%	94.3%	84.4%	93.3%
(就労支援B型)		令和5年度		令和4年度	
目標年間作業 収入年間	目標	1,561千円 (生活介護収入も含む)		1,356千円 (生活介護収入も含む)	
	実績	1,283千円 (生活介護収入も含む)		1,437千円 (生活介護収入も含む)	
	達成率	82.1%		105.9%	
1人平均月額工賃	目標	6,000円以上		6,000円以上	
	実績	4,664円		5,956円	
	達成率	78%		99.2%	

定員の125%利用可

サービス活動収益につきましては、生活介護前年比2.9%減の60,902千円、就労継続支援B型前年比3.0%減の21,190千円となりました。主な要因は、生活介護ご利用者様1人、就労継続支援B型2人が退所となったこと、長期欠席が続いているご利用者様が数人いること、感染予防による欠

席の場合の特例算定が廃止になったことにより、前年比生活介護で 1.4 人減、就労 B 型で 1.1 人減となったことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、生活介護前年比 1.1% 減の 53,303 千円、就労継続支援 B 型前年比 23.5% 増の 21,003 千円となりました。主な要因は、就労継続支援 B 型の人員配置変更による人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、生活介護 1,482 千円、就労継続支援 B 型△178 千円となりました。

#### 4 ハーモニーホーム

##### (1) 取組内容

- ①地域での「くらし」が 10 月からスタートし、ハーモニーホームとして自治会に加入し会議にも出席させていただきました。ご利用者様の参加は見送りましたが、今後は機会を見つけてご近所様とのコミュニケーションの場を支援してまいります。
- ②短期入所、一時支援事業では、野田市立あおい空、野田市心身障がい者福祉作業所と連携し、支援範囲の制限を設けた中で少しでもニーズに対応できるよう段階的に開始準備を行い、短期入所は 3 月から開始することができました。一時支援は令和 6 年度 4 月から開始いたします。ご家族様のレスパイトケアや働くご家族様のサポートが主なご要望となっております。今後、支援範囲の幅を広げて対応してまいります。
- ③親元を離れ自立した生活を初めて経験する方が多くいらっしゃるため、親離れ子離れの心の整理、心のケアを中心に支援してまいりました。ご利用者様は少しずつ生活環境に慣れ、サポートする職員側も個々人の生活に必要な支援を考えながら対応することで信頼関係の構築に努めてまいりました。また、通い慣れた日中活動の場へ通所できるよう各通所先と連携し、在宅中と変わらない生活環境を支援し整えることができました。

##### (3) 数値計画

	共同生活援助	短期入所	一時支援
定員	16 人	5 人	4 人
営業日数	183 日	31 日	-
令和 5 年度目標	11.8 人	2.9 人	1.2 人
令和 5 年度実績	8.8 人	0.06 人	-
達成率	74.4%	2.2%	-

サービス活動収益につきましては、23,898 千円となりました。共同生活援助延べ 1,606 人、短期入所延べ 2 人のご利用でした。男性棟は、週末を閉鎖のご協力をいただき開所につなげました。

サービス活動費用につきましては、38,494 千円となりました。事業開始費用を含む支出となっております。



その結果、サービス活動増減差額につきましては、△14, 595 千円、当期活動増減差額につきましては、82, 373 千円となりました。

## 5 野田市立あおい空

### (1) 取組内容

- ①利用者支援に必要な研修として、摂食嚥下研修、相談支援、虐待防止研修などの外部研修参加のほか、施設内では機能訓練研修、学習会の機会を年6回実施し適切な支援力を身につけることができました。
- ②身体状況に変化があったご利用者様には個別支援計画の内容を変更し、個々の状態にあった支援提供に努めました。その結果、年度末に実施した満足度調査では、満足度の高い評価をいただきました。
- ③一時支援は、ご家族様との会話からニーズを聞き出したことにより、利用増回となったご利用者様が2人いらっしゃいました。短期入所は、グループホームに入居された方が6人いたことで、営業日と利用人数が減少しましたが、希望に沿った回数を利用していただくことができました。

### (2) 利用実績

	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和5年度目標	20人	233日	18.9人
令和5年度実績	21人	233日	18.9人
達成率	100%		
令和4年度実績	20人	233日	18.9人
サービス		一時支援	短期入所
定員	6人		3人
営業日	令和5年度	278日	99日
	令和4年度	278日	135日
	増減	—	—
サービス		一時支援	短期入所
利用者延人数	令和5年度	1189人	260人
	令和4年度	1160人	331人
	前年比	2.5%増	22.5%減
1日当たり平均人数	令和5年度	4.2人	2.6人
	令和4年度	4.1人	2.4人
	前年比	2.4%増	8.3%増

サービス活動収益につきましては、前年比6.5%増の168,018千円となりました。要因としては処遇改善費、人件費増による指定管理料の増額が主となっています。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比0.3%増の142,685千円となりました。主な要因は必要人員が充足されたことによる人件費増1,339千円によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、13,180千円となりました。

## 6 野田みどり会相談支援事業所

### (1) 取組内容

- ①今年度から野田市事業である相談支援（障がいのある方やその家族、関係者を対象に総合的な相談を受け、情報提供や相談、助言、専門機関の紹介などを行う）を担当し、相談の間口を広く構え、相談初期段階でご利用様に安心感を与えられるよう対応しました。
- ②ご利用者様や関係機関と連絡を密接にとり、計画作成などの進捗状況を共有しながら、ご利用者様に不安を与えないよう業務に取り組みました。
- ③全利用契約者の 65%強の割合（令和 6 年 3 月 31 日現在）を占める精神障害者の特性に配慮し、必要に応じて基幹相談支援事業所とも連携しながら、ご利用者様の適性に配慮できるサービス事業所の利用計画支援に努めました。
- ④ご利用者様やご家族様（子どもや高齢の親）への支援に配慮し、地域包括支援センターや児童相談所、子ども家庭総合支援課などと連携しながら、ご利用者様を取り巻く家庭環境にアプローチする相談支援に取り組みました。
- ⑤法人内の障がい者支援事業所（野田市心身障がい者福祉作業所・野田市立あおい空）のご利用者様のうち当該事業所に契約変更していただいた件数は 55%（前年比 5 ポイント増）になりました。

### (2) 利用実績

	計画作成	継続支援
令和 5 年度目標	94 人	348 人
令和 5 年度実績	116 人	351 人
達成率	123.4%	100.8%
令和 4 年度実績	116 人	348 人

サービス活動収益につきましては、前年比 10.4%増の 7,123 千円となりました。主な要因は、野田市相談支援事業の受託によるものです。

サービス活動費用につきましては、前年比 5.8%増の 4,716 千円となりました。主な要因は、通信運搬費と車両修繕費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,602 千円となりました。

令和5年度事故等発生状況（年間）

(件)

事業所名	ヒヤリ/ハット			事 故			県・市(事故報告書)			苦 情		
	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減
1 特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	151	144	7	173	207	△ 34	2	3	△ 1	0	0	0
2 ショートステイ鶴寿園(従来型)	97	78	19	52	131	△ 79	0	3	△ 3	0	0	0
3 特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	511	506	5	381	317	64	15	17	△ 2	0	0	0
4 ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	52	47	5	49	17	32	0	2	△ 2	0	0	0
5 デイサービスセンター鶴寿園	36	37	△ 1	32	24	8	0	0	0	0	0	0
6 鶴寿園訪問介護事業所	56	50	6	8	7	1	0	0	0	0	0	0
7 鶴寿園居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 野田市東地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 複合老人ホーム野田市楽寿園(特養)	215	137	78	127	124	3	2	2	0	0	0	0
10 複合老人ホーム野田市楽寿園(養護)	30	14	16	38	13	25	1	1	0	0	0	0
11 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	59	65	△ 6	8	3	5	0	0	0	0	0	0
12 野田市心身障がい者福祉作業所	37	39	△ 2	45	9	36	1	0	1	0	0	0
13 ハーモニーホーム	4		4	10		10	0	0	0	0	0	0
14 野田市立あおい空	47	40	7	10	13	△ 3	0	0	0	0	0	0
15 野田みどり会相談支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,295	1,160	135	933	868	65	21	28	△ 7	0	0	0

※苦情解決運営規程に基づき報告された件数

おもな事例

ヒヤリ/ハット	事 故	県・市(事故報告書)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子から立ち上がる。</li> <li>・居室から歩いて出て来る。</li> <li>・ギャジリモコンの誤操作。</li> <li>・車椅子から降りようとされる。</li> <li>・歩行器を使用せず歩かれる。</li> <li>・立ち上がりの際に膝折れし転倒しそうになる。</li> <li>・センサーマットの電源入れ忘れ。</li> <li>・異食しそうになる。</li> <li>・家カギのかけ忘れ。</li> <li>・菓の飲み忘れ。</li> <li>・ベッド柵のかけ忘れ。</li> <li>・立ち上がり時ふらつき転倒しそうになる。</li> <li>・廊下にある備品が通行の邪魔になっていた。</li> <li>・歩行器使用中に職員の手が高さ調整レバーに接触し利用者が膝立ちのような姿勢に崩れた。</li> <li>・マット上で利用者が勢いよく体を反らせたことで後ろに倒れ窓に後頭部をぶつけた。</li> <li>・浴室で担架がストレッチャーに固定されていないうちに動かしてしまった。</li> <li>・リフト移乗の際、リフトのフックが左目付近に接触した。</li> <li>・胸ベルトの付け忘れ。</li> <li>・送迎車内下部エアコンからの温風が右足に当たり、熱感と赤みが出現した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左前腕表皮剥離</li> <li>・車椅子から転落</li> <li>・車椅子よりずり落ち</li> <li>・左脛2ヶ所表皮剥離</li> <li>・右肘に7cm程のアザ</li> <li>・尻もちをつく</li> <li>・手親指付け根に1～2cmの表皮剥離</li> <li>・車椅子のフットレスト部分に挟まる形で床に座り込む</li> <li>・誤薬</li> <li>・暴言暴力行為（入居者間）</li> <li>・ベッドから転落</li> <li>・菓の服薬忘れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部より出血頭部裂傷部6針縫合</li> <li>・右大腿骨大転子部骨折</li> <li>・左大腿骨大転子部骨折</li> <li>・右大腿骨頸部骨折</li> <li>・左大腿部頸部骨折</li> <li>・右鼠径部骨折</li> <li>・右肘関節骨折</li> <li>・右親指第一中手骨折</li> <li>・左大腿骨患部骨折</li> <li>・第5胸椎・第12胸椎圧迫骨折</li> <li>・第1腰椎圧迫骨折</li> </ul>

令和5年度 事業所別利用明細表

事業名	年	営業 日数	定員(人) ※1	利用者 延人数	利用率(%)	1日当	
						目標(人)	
特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	今年度	366	54	19,513	98.7%	53.0	
	前年度	365	54	18,922	96.0%	53.0	
ショートステイ鶴寿園(従来型)	今年度	366	16	4,822	82.3%	14.0	
	前年度	365	16	4,614	79.0%	14.0	
特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	今年度	366	90	32,456	98.5%	88.2	
	前年度	365	90	32,260	98.2%	88.1	
ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	今年度	366	10	2,967	81.1%	8.9	
	前年度	365	10	3,005	82.3%	8.9	
デイサービスセンター鶴寿園	今年度	366	30	7,862	71.6%	21.0	
	前年度	365	30	6,978	63.7%	22.0	
鶴寿園訪問介護事業所	今年度	366	160	9,520		795	
	前年度	365	120	9,048		770	
鶴寿園居宅介護支援事業所	今年度	257	258	2,754	95.6%	240	
	前年度	258	318	2,654	73.2%	277	
野田市東地域包括支援センター	今年度	247		1,694		200	
	前年度	247		1,694		200	
特別養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	366	29	10,270	96.8%	28.0	
	前年度	365	29	10,136	95.8%	28.0	
養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	366	41	9,487	63.2%	30.0	
	前年度	365	41	10,099	67.5%	30.0	
野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	今年度	303	25	5,044	66.6%	19.5	
	前年度	300	25	5,329	71.1%	19.5	
野田市心身障がい者福祉作業所	生活介護	今年度	243	25(30)	5,917	78.5%	27.2
				就労継続支援B型	15(14)	2,514	64.7%
	生活介護	前年度	244	25(31)	6,233	82.4%	27.2
				就労継続支援B型	15(16)	2,778	71.2%
ハーモニーホーム	共同生活援助	今年度	183	16	1,606	54.8%	11.8
		前年度					
	短期入所	今年度	31	5	2	1.3%	2.9
		前年度					
	一時支援	今年度	0	4	0	-	-
		前年度					
野田市立あおい空	生活介護	今年度	233	20(21)	4,426	90.4%	18.9
		前年度	233	20(21)	4,449	90.9%	18.9
	日中一時	今年度	279	6	1,189	71.0%	
		前年度	278	6	1,161	69.6%	
	短期入所	今年度	105	3	260	82.5%	
		前年度	135	3	331	81.7%	
野田みどり会相談支援事業所	計画作成	今年度	252	-	116		※4 7.8
		前年度	252	-	116		7.8
	モニタリング	今年度	252	-	351		※4 29.0
		前年度	252	-	348		29.0

※1 野田市心身障がい者福祉作業所の定員( )内は実人数  
 ※2 1日当たり平均人数 訪問介護事業所のみ時間単位で表示  
 ※3 平均介護度の( )は障害支援区分を記載

令和6年3月31日現在

たり平均人数 ※2		利用者 1人1日 当たり単価	平均 介護度 ※3	平均年齢			入退所(人)		入院者	
実績(人)	達成率(%)			男	女	計	入所数	退所数	人数	延日数
53.3	100.6%	12,344	3.90	77.0	85.4	83.3	21	22	6	147
51.8	97.7%	12,406	3.80	81.2	87.1	85.9	26	26	8	228
13.2	94.3%	11,466	2.90	85.7	86.5	86.3				
12.6	90.0%	11,341	3.00	76.3	83.0	81.0				
88.7	100.6%	14,759	3.80	84.6	89.3	88.4	30	30	12	213
88.4	100.3%	14,897	3.70	84.9	89.1	88.4	21	22	19	306
8.1	91.0%	15,067	3.30	84.5	90.7	88.9				
8.2	92.1%	15,425	3.30	84.8	89.5	88.6				
21.5	102.4%	9,755	1.90	83.1	86.6	85.3	31	36		
19.1	86.8%	9,560	1.90	83.3	86.7	85.6	48	31		
793.4	99.8%	5,048	1.20	79.5	84.1	82.2	36	35		
751.5	97.6%	4,793	1.30	81.4	84.4	83.0	66	49		
239.9	100.0%	13,730	1.61	80.3	85.4	83.5	89	83		
221.0	79.8%	13,884	1.65	79.6	85.0	83.0	116	92		
141.2	70.6%									
141.2	70.6%									
28.1	100.4%	12,143	3.60	88.1	85.5	86.2	8	8	14	205
27.8	99.3%	12,325	3.41	83.3	87.7	86.0	7	6	23	294
25.9	86.3%	10,636		78.7	85.2	82.2	1	4	5	117
27.7	92.3%	10,764		81.5	84.9	83.5	7	7	28	381
16.6	85.1%	8,111	1.14	88.2	86.8	88.9	12	18		
17.8	91.3%	8,106	1.28	86.2	88.3	87.3	9	12		
24.3	89.3%	10,293	(5.0)	36.0	36.0	36.0	0	1		
10.3	84.4%	8,429	(3.7)	51.0	40.0	45.5	0	2		
25.7	94.5%	10,062	(4.9)	35.8	37.9	36.9	0	0		
11.4	93.4%	7,866	(3.7)	52.1	39.8	46.0	0	0		
8.8	74.4%	14,677	(5.6)	41.1	49.9	45.5	16	0		
1.0	2.2%	5,109	(4)	-	45.0	45.0				
-	-	-	-	-	-	-				
19.0	100.0%		(6)	31.8	28.0	29.9	1	0		
19.0	100.0%		(6)	30.8	29.7	30.2	1	1		
4.2				29.4	28.8	29.1				
4.1				28.6	27.4	28.0				
2.2				31.0	26.0	28.5				
2.4				31.1	30.1	30.6				
9.7	124.4%	※5 17,332	※6(3.8)	※6 42.9	※6 39.3	※6 41.1				
9.6	123.1%	17,332	(3.9)	42.5	39.7	41.7				
29.3	101.0%	※5 13,571	※6(3.8)	※6 42.9	※6 39.3	※6 41.1				
29.0	100.0%	13,571	(3.9)	42.5	39.7	41.7				

※4 相談支援事業所目標値は、1か月当たり人数

※5 相談支援事業所単価は、1件あたりの金額

※6 相談支援事業所数値は、全登録者からの値